



民主クラブ
やまもと としひろ
山本 敏雄 議員

町内会の役割と交付金について

問 町内会に交付する「融和と協働のまちづくり交付金」の見直した内容は。

答 町内会への交付金には、区長事務委託交付金と町内交付金がある。アフターコロナを見据えて、地区、町内の活動を活性化し、地域コミュニティを持続可能なものにしていくことを目的とする配分に変えている。地区への交付金としては、まちづくり事業や新型コロナウイルス感染対策等にも利用できるよう地区交付金を増額した。また、新たに「十区色づくり交付金」を創設し、各地区の歴史・伝統・文化・産業などの「色」を出していけるよう、各地区が新たに取

組む事業に助成制度を設けた。そのほかにも、「コミュニティまちづくり特別交付金」を新設し、町内のまちづくり事業にも柔軟に活用できるようにした。

意見 区長事務委託交付金を一部の町内会では区長報酬にしていると聞いており、区長自身の所得として確定申告をしているのかという指摘もあり、改善すべきではないかと思われる。

その他の質問

- 地域における女性役員の登用について
- コメ生産農家の経営について



それぞれの「色」を



志清同友会
かえりやま あきお
帰山 明朗 議員

「地区版市民活動計画」について

問 市民が地域課題などを自らの手で切り開こうとする行動を、社会教育の最前線の地区公民館がさらにサポートすることは大きな力だが、「地区版市民活動計画」策定に当たり地区公民館の協力についての教育委員会の考え方は。

答 地域課題は今後ますます顕在化する。社会教育、地域コミュニティの拠点としての役割を果たす公民館の役割は、今後より一層重要である。先般策定した第2期教育大綱でも市民協働推進会議からの提言も踏まえ「公民館を住民の自助共助による持続可能な地域づくりを目指す場として充実に

努める」という方針が示された。地区公民館では、日々の活動や地区住民との対話を通じ地域課題解決に向けた実践が行われており、これからも各世代や各種団体等をつなぐプラットフォームとして、社会教育による人づくり、つながりづくり、地域づくりへとコーディネーターのような役割が求められる。この計画策定は持続可能なまちづくりを進める上で大変重要。各地区から地区版市民活動計画づくりに取り組みたいとの声が上がった際は、教育委員会としても市長部局とも連携し、公民館のプラットフォームとしての役割を生かしサポートしたい。



市民創世会
すいづ たつお
水津 達夫 議員

福井鉄道福武線について

問 通学・通勤定期など日常利用者数は。

答 令和元年度1月末現在で22万人、令和3年度1月末現在で22万4,000人となっており、およそ1%微増している。

問 定期外（一般の都度）利用者数は。

答 令和元年度1月末現在で17万8,000人、令和3年度1月末現在では12万5,000人となっており、約30%減少している。

問 利用回復に向けた取組は。

答 昨年4月にパークアンドライドの駐車場として、西鯖江駅に14台分の新規供用を開始した。また、キャッシュレス決済可能な自動券売機を3駅に設置した。

問 再建スキームの現況は。

答 令和3年度にサンドーム西駅から西鯖江駅までの枕木交換や、サンドーム西駅から鳥羽中駅までの区間の軌道の補修、西山町および鳥羽中地係での軌道のアールの部分のレール更新などを実施した。

問 ソフト部門の営業力強化が必要では。

答 令和4年度から鉄道営業部を設置し、企業や学校、公民館などに出向いての福武線利用促進の営業活動を一層強化していきたいと聞いている。



フクラムと桜